

鎌倉総第83号

令和6年(2024年)4月4日

鎌倉市議会議長 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2243)

議会受付番号	文書質問第 11 号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (まちづくり計画部都市計画課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第11号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

令和6年3月17日から江ノ島電鉄稲村ヶ崎駅が無人化となった。また、稲村ヶ崎パーク&レイルライドの発売も3月16日をもって終了となった。これにより駅利用者の安全確保と様々なサービスが低下する事態となっている。

稲村ヶ崎駅は構内踏切であるので、令和6年2月3日より、安全性向上を図るためとの理由で実施された、新信号システム導入、それに伴い江ノ島駅及び長谷駅の構内踏切を廃止した事と矛盾している。

安全性の低下を招いていると沿線住民利用者として感じると共に、多くの利用者の市民から異論を聞いている。この事について、鎌倉市としてどのように感じているのか、江ノ島電鉄株式会社はどのように言われているのかお伺いする。

また、稲村ヶ崎駅利用者の安全確保と様々なサービス低下を補う対応策、並びに、長谷駅の構内踏切を廃止し、行先別改札を運用開始した事による、長谷駅近隣の県道藤沢鎌倉線をはじめとする交通混乱について、江ノ島電鉄株式会社、交通管理者、道路管理者とどのように相談されて対策を行うのかお伺いする。

2 質問の理由

インバウンドにより利用者が急増しており、稲村ヶ崎駅無人化による、利用者の安全確保策、長谷駅の構内踏切を廃止した事による県道藤沢鎌倉線の交通混乱の対応策が緊急に必要なので伺う。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

稲村ヶ崎駅のご質問について江ノ島電鉄株式会社（以下「江ノ電」という。）に確認したところ、無人化に伴う安全対策については、「既に無人化している極楽寺駅等同様、駅構内に設置しているカメラでの監視及び列車が駅に到着した際は乗務員により対応します。また、列車接近時には放送とチャイムでお知らせするシステムを設置済みであり、ホーム上には非常押し

釘を設置しております。」との回答でした。

また、サービスの低下については、「券売機横にインターホンを設置し、江ノ島駅係員と連絡が取れる体制となっております。」との回答でした。

長谷駅の構内踏切を廃止した事と矛盾しているとのことについては、「稲村ヶ崎駅は島式のホームで、構内踏切は鎌倉方面行きのみ設置しております。列車がホームに進入し終わると踏切は開く構造となっており、長谷駅とは異なり踏切道と列車との離隔距離が確保されているとともに、藤沢方面行及び鎌倉方面行きともにホームから出発する列車に影響がないことから、新信号システムを導入しても運用に変更はないため廃止しませんでした。なお、構内踏切自体は、遮断機、警報機、閃光灯と通常の第1種踏切と同等の基準に沿った設備であり安全性に問題ございません。」との回答でした。

次に、長谷駅における安全対策については、令和6年(2024年)2月14日付で江ノ電へ神奈川県警及び藤沢土木事務所と協議を行うよう要請し、江ノ電としての安全対策について確認したところ、「ゴールデンウィークなどの繁忙期には、駅構内及び踏切付近に警備員を必要に応じて配置し対応してまいります。また、行先別改札口となったことにより交通混乱が生じるようであれば、配置する警備員により適宜誘導をするとともに、引き続き実現可能な対策を神奈川県や鎌倉市と協議してまいります。」との回答でした。

市としては、直接安全対策を講じられないことから、交通管理者である鎌倉警察署には県道踏切海側に横断歩道の設置について相談しましたが、踏切直近への設置は出来ないとの回答でした。併せて、江ノ電が安全対策として混雑時に警備員を配置する旨説明したところ、混雑状況を踏まえた対応をしてほしいとのことでした。

また、道路管理者である藤沢土木事務所に歩行者が車道にはみ出すことの防止策を相談したところ、関係機関と調整していきたいとの回答でした。

今後は、状況を踏まえながら江ノ電をはじめ関係機関と安全確保等に努めてまいります。